

辞めざるを得ない人について 辞世の歌別れの歌 令和6年4月 青野正宏
辞任表明したS県のK知事

が辞任の心境を聞かれて詠んだ歌

「散りぬべき 時知りてこそ 世の中の 花も花なれ 人も人なれ」 細川ガラシャ
これに細川家の子孫が激怒。まあ、次の開き直りの歌のほうがあっていると思う

「マスコミも 人も何とも 言はばいへ(退職)金は惜しむが 名をは惜まじ」

「心しらぬ 人は何とも 言はばいへ 身をも惜まじ 名をも惜まじ」 明智光秀(後世の偽作だろうが)
またはこうかな?

おもいつく 弁解なくて つひにする 辞職まよわじ なるにまかせて

「おもひおく 言の葉なくて つひにゆく 道はまよわじ なるにまかせて」 黒田官兵衛

離党勧告を突き付けられたS代議員

あの人としてはこう言って欲しかった

「今はただ 恨みもあらじ 自民をの いのちにかわる わがみと思えば」

「今はただ 恨みもあらじ 諸人の いのちにかわる わが身と思えば」 別所長治

しかし 実態は以下の① 外野は②のやぶれかぶれ爆弾発言を期待している

「① 今日でお別れね もうあえない 恨みを言わずに いたいけれど 信じられないの
そのひとこと 座長と呼んで 持ち上げたあなたが 突然やめてよと 言えるなんて

②最後に爆弾 火をつけましょう 曲がった 党風 なおさせてね 自民の活動や
駆け引きに 機敏に気を配る 胸はずむ仕事は これからどなたがするのかしら」

「①今日でお別れね もう逢えない 涙を見せずに いたいけれど 信じられないの そのひとこと
あの甘い言葉を ささやいたあなたが 突然さようなら 言えるなんて

②最後のタバコに 火をつけましょう 曲ったネクタイ なおさせてね あなたの背広や 身のまわりに
やさしく気を配る 胸はずむ仕事は これからどなたが するのかしら」 なかにし 礼

まあ そういう開き直りを期待しても多分無理、結果はこの程度か

「逃げさそう 票よりもなほ 我はまた 次の選挙を いかにとかせん」

「風さそう 花よりもなほ 我はまた 春の名残を いかにとかせん」 浅野内匠頭

S代議員とともに離党勧告のS議員

S代議員と違ってさっさと余裕の離党届を出したのは今後の心配がないから

「政界の 風にまかせる身ながらも たわまぬ地盤 ありとこそ聞け」

「なよ竹の 風にまかする 身ながらも たわまぬ節は ありとこそ聞け」 西郷八重子

S代議員 今限りで辞任を表明したN元幹事長

今後のことは心配していない? SとNの息子が争うとの説がもつばら

紀ノ川や 浜の真砂は 尽きるとも 世に抗争の種は尽きまじ

「石川や 浜の真砂は 尽きるとも 世に盗人の種は尽きまじ」 石川五右衛門